

令和4年度入学生 キャリア教育全体計画書

学校番号	25	学校名(課程)	屋代 高等学校(全日制)
------	----	---------	--------------

1 全体目標

○ 社会で生き抜く力を養うために、自ら思考し判断したことを、他者とのコミュニケーションをはかりながら、自律して実践できる生徒を育成する。

2 現状・課題

普通科生・理数科生・中高一貫生のそれぞれのカリキュラムを作り、その特色を生かした新しい学校づくりの完成を目指しているが、まだまだ未完成である。上位層の力を一層伸ばし、いわゆる難関大学や医学部医学科への合格者を増やすとともに、地元の信州大学やその他の基幹大学を目指す中位層・下位層の生徒の学力の底上げを図ることが課題である。

3 つけたい力

【基礎的・汎用的能力】(人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力)【キャリア・デザイン力】を含める。

学校で言い換えた力でもよい。

- a 自己理解を深めるなかで、社会に目を向け、人生観を形成することによって、自己の将来を意欲的に拓こうとする力
- b 自ら課題を設定し、問題を探究する中で、他者とコミュニケーションを取り、協働して課題を解決していく力
- c 俯瞰的視点から課題に向き合い、PDCA サイクルに基づくマネジメントに従いながら継続的に問題点を解決していこうとする力
- d 他者と協働して課題を解決していくなかで、コミュニケーション力、他者への配慮、協調性、責任感を身につける

4 内容

指導項目	指導方針〈対応する項目〉
①自己の在り方、生き方を考え、社会参画の意識を醸成する	ア 教科学習・学校行事・班活動・生徒会活動全てをキャリア教育活動と位置づける。 イ 過去から現代に至る世界や日本の諸問題に目を向け、人間の生き方や社会のありかを考えさせる。〈①、③〉
②仕事や社会で必要となる力(基礎的・汎用的能力)を育む	ウ 知識・技能、思考力・判断力・表現力など幅広い力の育成を図る。〈②、④〉
③様々な学習や体験を通して勤労観、職業観の形成を促す	エ 地域社会、産業界、高等教育、研究機関等と連携をはかる。就業体験や高等教育・研究機関での体験活動を推進する。〈②、③〉
④卒業後の進路を選択し、職業を通してどう社会と関わり、どう生きたいのかを構想し続ける力を育む	オ 事前、事後指導やフィードバックを繰り返す中で、身についた力の確認と、目標への軌道修正を行わせる。〈②、③、④〉 カ 年度末に評価(教員、生徒自身)を行い、次年度への取り組みに活かす。

指導場面等	指導計画・キャリア教育の視点等〈実施学年〉
教科の授業	・生徒が主体的に学び、他の生徒と協働して問題解決をはかるためにアクティブ・ラーニング型の授業を各教科の状況に応じて全教科で導入する、また授業の評価法を研究し全教科で共有する。
総合的な探究の時間	・「一人一研究」「課題探究」「SS 探究」で各自の設定した課題や探究した成果を全体場でプレゼンテーションする。〈1、2、3年〉 ・「SSH フォーラム」で研究者を招いて自然科学分野を中心とした講演会の開催〈1、2、3年〉 ・「屋高フォーラム」等、各種講演会で職業や学問全般にわたる学習の場をもつ〈1、2年〉
特別活動	・進路選択を進める上で、人生観や職業観を考えさせる契機となる講演会の実施 ・職業選択や文理選択に向けての職業研究、学問、学部学科研究、大学研究の実施
校外の体験活動(就業体験活動等)	・各種ジョブシャドウイング(希望者)〈1、2年〉・SSH 東北サイエンス交流会(希望者)〈1、2、3年〉 ・大学・企業研究会(希望者)〈1、2、3年〉・ボランティア活動(希望者)〈1、2、3年〉
地域や産業界等との連携	・「科学に親しむ教室」(千曲市公民館主催)、(市立)屋代中学校との交流活動 ・ジョブシャドウイング、就業体験、企業見学、医療系体験学習会(事前事後指導含む) ・「屋代ミニ大学」(地元大や全国各大学と連携し講師を招いての講演・模擬授業・意見交換会) ・信州大学工学部、繊維学部との連携講座

評価	・職員間は授業公開をもって、生徒に対しては授業アンケートを実施し、担任や担当との面接等で評価 ・県教委の実施する「生徒意識調査」の活用
中学校との連携 (指導の継続性)	・中学生の体験入学時に、高等学校でのキャリア教育の全体像を説明する。 ・選抜生は入学時に各中学校での学習を振り返らせ、高校生活の目標と計画、今後の進路を考える。 ・一貫生は6年間のキャリア指導計画に基づき、高校生活の目標と計画、今後の進路を考える。
校内の推進体制	・キャリア支援部18名を主に、部内のキャリア教育係(進路指導係)や SSH 係や他の分掌との連携を図る。 ・各学年、教科主任会(各教科代表)との協力、連携
キャリア・パスポートの取組	・中学からの「キャリア・パスポート」、ゲーグルクラスルーム、スコラ手帳(またはフォーサイト)などを用いて目標設定や振り返りを行い、それを蓄積していながら進路希望の実現を目指す。

5 学年別指導計画

	1 年	2 年	3 年
目 標	○自己の適性と社会との関わり理解 ○職業体験や研究を進路に結びつける。	○働くことの意味を考える。 ○進路情報を収集し進路を選択する。	○将来を見据えた進学先の決定 ○進路実現を目指す。
主 な 取 組	○高校への学習方法への切り替え ○大学・企業見学、ジョブシャドウイング ○文理選択説明会	○キャリア講演会 ○「屋代ミニ大学」 ○就業体験(希望者)	○キャリア講演会 ○就業体験(希望者)
評 価	・生徒意識調査(県教委) ・教員アンケート ・ポートフォリオ	・生徒意識調査(県教委) ・教員アンケート ・ポートフォリオ	・生徒意識調査(県教委) ・教員アンケート

年間指導計画と各取組の関連

*就業体験活動、校外活動は□で囲む

	教 科	総合的な探究の時間	特別活動 等	その他(面接・評価等)
1 年	(記入例)・共生社会と福祉(家庭) ・ともに生きる社会を 目指して(公民)	福祉社会における私たちの役割 を考える 特別養護老人ホーム訪問(交流)	特別養護老人ホーム訪問に向けて (講話及びホームルーム活動)	ポートフォリオを用いた自己 評価
	4 シラバスを用いた学習オリエンテー ション 家庭「仕事と生活」を考える	SSHフォーラム 教育実習生と語る会(放課後活用) キャリア講演会① 平和学習(松代大本堂見学)	高校生活オリエンテーション マラソン大会 クラスマッチ 市立屋代中との「学習交流会」に参加 し、指導方法を学ぶ(英数等、希望者)	学習実態調査 面接 面接
	夏 休		職業探求、学問探求 ジョブシャドウイング(希望者) 福島高校交流・東北大学見学(希望者) サマーチャレンジボランティア(希望者)	
	9 12	キャリア講演会② 屋高フォーラム 「一人一研究」クラス中間発表会 大学・企業見学会	文理選択説明会 クラスマッチ 市立屋代中との「学習交流会」に参加 し、指導方法を学ぶ(英数等、希望者)	面接 ポートフォリオを用いた評価 面接
	1 現代社会「キャリア」(両親の青年期 を取材し、自己の生き方を考える)	「一人一研究」クラス発表会 1年間の活動のまとめ	大学学部研究①	生徒意識調査(県教委)
	3 春 休	「一人一研究」全体発表会	就業体験活動(希望者)	面接、生徒アンケート ポートフォリオを用いた評価
2 年	4 シラバスを用いた学習オリエンテー ション 7	SSHフォーラム 教育実習生と語る会(放課後活用) キャリア講演会①	マラソン大会 クラスマッチ 市立屋代中との「学習交流会」に参加 し、指導方法を学ぶ(英数等、希望者)	学習実態調査 面接

	夏 休	大学説明会(希望者) 「課題探究」中間発表会	就業体験活動(希望者) 福島高校交流・東北大学見学(希望者) サマーチャレンジボランティア(希望者)	
	9 12	屋代ミニ大学 屋高フォーラム 平和講演会 キャリア講演会② 「課題探究」レポート提出	大学学部研究② クラスマッチ 3年次コース選択説明会 市立屋代中との「学習交流会」に参加し、指導方法を学ぶ(英数等、希望者)	面接 ポートフォリオを用いた評価 面接
	1 3	「課題探究」冊子完成		生徒意識調査(県教委) 面接、生徒アンケート ポートフォリオを用いた評価
	春 休		就業体験活動(希望者)	
3 年	4 7	シラバスを用いた学習オリエンテーション SSHフォーラム 教育実習生と語る会	マラソン大会 クラスマッチ 市立屋代中との「学習交流会」に参加し、指導方法を学ぶ(英数等、希望者)	学習実態調査 面接 面接
	夏 休		就業体験活動(希望者) 福島高校交流・東北大学見学(希望者) 学習合宿(希望者)	
	9 12	家庭「自立した消費生活」を考える 屋高フォーラム	クラスマッチ 大学入学共通テスト説明会 小論文面接指導 理科「科学に親しむ教室」に参加し、指導方法を学ぶ(希望者)	面接 生徒意識調査(県教委)
	1 3		小論文面接指導	面接、生徒アンケート